

■ 『中央美術』^{そうかん}を創刊

田口 掬汀

たぐち きくてい

出身地 仙北市（旧角館町）

1875年（明治8年）～1943年（昭和18年）

上京後、小説『人の罪』^{いちやく}で一躍流行作家となる。新聞小説、家庭小説、また新派創生期^{しんぱ そうせい き}に演劇^{えんげき}で活躍^{かつやく}。

美術界では雑誌『中央美術』^{そうかん}を創刊。若い日本画家^{ざっし}を集めて啓蒙運動^{けいもう}を行う。



年譜

- 1875年 仙北市^{かくのだて}（旧角館町）に生まれる。
本名・菊治^{きくじ}のち鏡次郎^{きやうじろう}。
- 1890年 角館尋常高等小学校^{じんじやう}卒業。
- 1891年 郡役所^{やとい}の雇、秋田新聞の通信員となる。
- 1900年 上京。新聲社^{しんせいしゃ}の編集部記者。
- 1903年 万朝報^{よろずちやうほう}に入社。11年、大阪毎日^{おおさか}に入社。
- 1915年 中央美術社^{そうせつ}を創設、美術雑誌『中央美術』^{ざっし}を創刊^{そうかん}。
日本美術学院^{そうりつ}を創立。
- 1916年 金鈴社^{きんれいしゃ}を結成。
- 1943年 東京都^{ぼつ}で没。68歳^{さい}。